

CSR 推進

SDGsへの貢献

2023年7月31日に埼玉県より「埼玉県SDGsパートナー」として登録されました。本制度は、SDGsに取り組む県内企業・団体等を登録し、その活動の推進を図るものです。当社は本制度のもと、環境・社会・経済の3つの分野で具体的な目標を設定し、取り組み方針に基づき計画的に活動を推進しています。

関連リンク【埼玉県SDGsパートナー】https://www.pref.saitama.lg.jp/a0102/sdgs/sdgs_partner.html



SDGs 達成に向けた高田製薬の取り組み方針

当社は「飲みやすく 使いやすい くすり」を提供することで、患者さんや医療関係者に貢献するとともに、企業倫理と透明性の維持を図り、地域社会の発展に寄与し、地球環境を守ることで、SDGsの達成に貢献していきます。

SDGs 達成に向けた取り組み状況

	重点的な取り組み	取り組み3年後に向けた指標	進捗状況	コメント	該当ページ
環境	CO ₂ 排出量の削減 (Scope1・2) ■基準値 (2021年度) CO ₂ 排出量：14,324t-CO ₂ /年	11,660t-CO ₂ /年 (2021年比：18.6%削減) ●2030年に向けた指標 8,398t-CO ₂ /年 (2021年度比：42%削減)	<3年経過時> 2025年度実績：12159t-CO ₂ /年 (2021年度実績比：約15%削減)	目標値には届かなかったものの、2021年度比で約15%の削減を達成しました。引き続き、削減に向けた取り組みを推進してまいります。	P28-P29
社会	有給休暇取得率向上と寄付活動 ■基準値 (2022年度) 1.有給休暇平均取得率：73.6% 2.寄贈活動：0団体	●取り組み3年後に向けた指標 ① 80% ② 2団体 (3回/年) ●2030年に向けた指標 ① 80%以上の維持 ② 3団体 (5回/年)	<3年経過時> ① 2025年度実績：75.9% ② 3団体への寄付・寄贈 ・自動販売機の売上の一部寄付 ・シール・折り紙等の寄贈 ・フードドライブ開催	有給休暇平均取得率は目標未達となりましたが、寄贈活動は目標を上回る3団体への寄付を実施いたしました。今後も働きやすい環境整備と社会貢献の両立に取り組んでまいります。	P36 P42-45
製品化件数	環境配慮型製品開発 ■基準値 (2022年度) 製品化件数：0件	●取り組み3年後に向けた指標 1件 (累計) ●2030年に向けた指標 2件 (累計)	<3年経過時> 2025年度実績：2件 (3件開発中)	環境配慮型製品開発については、バイオマスプラスチックボトル [※] の採用を検討し、2件の導入を行いました。	P14

※バイオマスプラスチックボトル：植物由来原料等を活用したプラスチックであり、化石資源由来プラスチックの使用削減に資するもの。

CSR 重要課題（マテリアリティ）

高田製薬は、経営理念に掲げる「人々の健康への貢献」や「社員の幸福および協力者との共栄」の考え方のもと、事業活動を通じた社会課題の解決に取り組んでいます。この理念は、事業の方向性を示す基盤であるとともに、従業員一人ひとりの意識や行動にも根付いています。

また、ステークホルダーからの期待や評価を踏まえ、より広い社会的視点を持った企業活動の重要性を認識しています。これらの考え方を2020年にCSRビジョンとして整理し、事業との関連性および社会への貢献度の観点から、2022年にCSR重要課題（マテリアリティ）を設定しました。

近年は、事業を取り巻く環境の変化を踏まえ、重要課題をリスクや機会の観点から捉えた取り組みへと展開しています。あわせて、社会からの要請等に応じて定期的に見直しを行い、妥当性を継続的に確認することで、持続的な価値創出と企業価値の向上を図っていきます。

マテリアリティ特定プロセス

当社におけるCSR重要課題の特定は、経営理念を起点として進めています。研究開発型企業として高品質な医薬品の提供に努めるとともに、製品と人の両面から健康長寿に貢献し、社会的価値の創出を目指しています。

ステークホルダーの声として、医療関係者から「飲みやすさを追求している製品が、多くの保護者や子供からも評価されている」という声や、「分包機に付かないので助かる」との評価をいただいています。また、工場見学を通じて「品質追求の姿勢が理解できた」「GMPの取り組みによる信頼性向上の努力をしている」といった評価も得ています。

自社の強み・弱み、および外部環境における機会・脅威の分析では、事業を取り巻くリスクと機会を整理し、部門を越えて課題認識を共有しています。

当社にとっての重要性だけでなく、社会やステークホルダーへの影響という観点も踏まえて課題を整理し、企業価値の向上と社会的価値の創出の両立を目指しています。

これらの要素を統合し、最終的にCSR重要課題（マテリアリティ）の特定につなげています。また、特定後も事業環境の変化等に応じて適宜見直しを行っています。

CSRビジョン

経営理念

ステークホルダーの声

強み・弱み／機会・脅威

+

リスク・機会の把握

課題の統合

CSR 重要課題（マテリアリティ）

- 医薬品の品質確保および安定供給
- 健康寿命の延伸・社会貢献活動・子供達への支援
- 法令遵守、公正・誠実な事業活動
- 多様な従業員が働きやすい職場環境改善・整備の推進
- サステナブル調達の推進
- 環境保全への対応